



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2020年11月9日

上場会社名 株式会社 セック
 コード番号 3741 URL <https://www.sec.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 櫻井 伸太郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 杉山 寿顕

TEL 03-5491-4770

四半期報告書提出予定日 2020年11月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	2,956	2.3	379	4.4	402	6.9	287	4.9
2020年3月期第2四半期	2,890	5.4	397	20.7	432	20.5	302	20.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	56.32	
2020年3月期第2四半期	59.10	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	7,180	6,129	85.4
2020年3月期	7,514	6,251	83.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 6,129百万円 2020年3月期 6,251百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		73.00	73.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				53.00	53.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年3月期期末配当金の内訳 普通配当 53円00銭 記念配当 20円00銭

3. 2021年3月期の業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,450	1.7	920	1.1	960	4.0	670	2.6	131.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	5,120,000 株	2020年3月期	5,120,000 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	9,642 株	2020年3月期	722 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	5,110,740 株	2020年3月期2Q	5,119,278 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料はTDnetで本日開示いたします。

また、当社は2020年11月25日(水)に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。当日使用する四半期決算説明資料は、TDnetで同日開示いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国情報サービス業の業況は、経済産業省「特定サービス産業動態統計」によると、2020年4月以降の前年同月比の月別売上高は増加と減少を繰り返しておりますが、受注ソフトウェアの分類に着目すると減少しており、新型コロナウイルス感染症による影響が継続していると推察されます。当社事業分野では、継続商談は堅調であったものの、新規商談の計画延期や中止などが発生したことにより受注高が対前期比で減少しており、新型コロナウイルス感染症による影響を受けていると考えられます。

こうした傾向の中、当社は、重点テーマであります「先端技術を窮め、オープン・イノベーションで事業成長を目指す」を実践し需要構造の変化に対応し、第2四半期会計期間は業績が回復しましたが、第1四半期会計期間の減益を埋め合わせるまでにはいかず、累計では増収減益に留まりました。

ビジネスフィールド（以下、ビジネスフィールドをBFと省略）別には、モバイルネットワークBFは、移動体通信事業者向けのサービス系の開発の減少が下げ止まりつつあるものの、モバイル決済関連の開発案件が減少し、売上高は459百万円（前年同期比27.4%減）となりました。インターネットBFは、民間企業向けの大型案件の開発が減少し、売上高は470百万円（同17.4%減）となりました。社会基盤システムBFは、交通分野のモバイル決済関連の開発が前期で終了したものの、官公庁案件や医療分野の開発が増加し、売上高は857百万円（同8.3%増）となりました。宇宙先端システムBFは、車両自動走行を含めたロボットの研究開発案件が好調であることに加え、宇宙天文分野の開発案件も堅調に推移し、売上高は1,169百万円（同30.4%増）となりました。

この結果、全社売上高に占める割合では、宇宙先端システムBF、社会基盤システムBFが上昇し、モバイルネットワークBF、インターネットBFが減少しております。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高2,956百万円（前年同期比2.3%増）、営業利益379百万円（同4.4%減）、経常利益402百万円（同6.9%減）、四半期純利益287百万円（同4.9%減）となりました。

ビジネスフィールド（BF）別売上高

ビジネスフィールド	前第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
モバイルネットワーク	632,460	21.9	459,329	15.5
インターネット	569,603	19.7	470,372	15.9
社会基盤システム	791,683	27.4	857,584	29.0
宇宙先端システム	896,756	31.0	1,169,355	39.6
計	2,890,503	100.0	2,956,642	100.0

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

ビジネスフィールド（BF）別受注状況

ビジネスフィールド	受注高 (千円)	前年同期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同期比 (%)
モバイルネットワーク	466,685	72.6	306,678	91.5
インターネット	484,100	76.2	307,337	90.5
社会基盤システム	1,041,693	118.2	1,345,239	114.0
宇宙先端システム	1,220,957	99.4	642,636	93.8
計	3,213,437	94.8	2,601,892	102.5

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期末の総資産は、前事業年度末に比べ333百万円減少し、7,180百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金の減少258百万円・現金及び預金の減少122百万円などによる流動資産の減少398百万円、投資その他の資産の増加67百万円などによる固定資産の増加64百万円によるものであります。

(負債)

負債は、前事業年度末に比べ212百万円減少し、1,051百万円となりました。これは主に、未払法人税等の減少67百万円・役員賞与引当金の減少16百万円・賞与引当金の減少14百万円などによる流動負債の減少254百万円によるものであります。

(純資産)

純資産は、四半期純利益による増加、自己株式取得による減少、配当金支払いによる減少などの結果、前事業年度末に比べ121百万円減少し、6,129百万円となりました。自己資本比率は前事業年度末の83.2%から85.4%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末と比べ122百万円減少して、四半期末残高は3,247百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において営業活動の結果得られた資金は338百万円となりました。これは主に、税引前四半期純利益408百万円及び売上債権の減少256百万円による増加、法人税等の支払額176百万円による減少によるものであります。前年同期と比較して411百万円の収入減となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において投資活動の結果支出した資金は38百万円となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出201百万円、投資有価証券の売却及び償還による収入185百万円によるものであります。前年同期と比較して28百万円の支出増となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において財務活動の結果支出した資金は422百万円となりました。これは、配当金の支払い372百万円、自己株式取得による支出49百万円によるものであります。前年同期と比較して178百万円の支出増となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2020年10月26日の「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,369,948	3,247,513
受取手形及び売掛金	2,390,104	2,131,782
その他	83,861	66,292
流動資産合計	5,843,914	5,445,588
固定資産		
有形固定資産	57,435	50,478
無形固定資産	14,041	18,297
投資その他の資産		
投資有価証券	822,776	881,428
その他	776,371	784,775
投資その他の資産合計	1,599,148	1,666,203
固定資産合計	1,670,625	1,734,979
資産合計	7,514,540	7,180,568
負債の部		
流動負債		
買掛金	305,328	260,664
短期借入金	36,000	36,000
未払法人税等	199,862	132,173
賞与引当金	267,000	253,000
役員賞与引当金	16,250	—
その他	342,797	230,744
流動負債合計	1,167,237	912,582
固定負債		
役員退職慰労引当金	81,917	—
資産除去債務	14,111	14,206
その他	—	124,417
固定負債合計	96,028	138,623
負債合計	1,263,266	1,051,205
純資産の部		
株主資本		
資本金	477,300	477,300
資本剰余金	587,341	587,341
利益剰余金	5,151,000	5,063,709
自己株式	△908	△33,066
株主資本合計	6,214,733	6,095,284
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	36,541	34,077
評価・換算差額等合計	36,541	34,077
純資産合計	6,251,274	6,129,362
負債純資産合計	7,514,540	7,180,568

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	2,890,503	2,956,642
売上原価	2,053,939	2,149,483
売上総利益	836,563	807,158
販売費及び一般管理費	439,293	427,406
営業利益	397,270	379,751
営業外収益		
受取利息	2,789	1,697
受取配当金	981	1,253
不動産賃貸料	2,039	2,047
補助金収入	11,990	—
受取出向料	17,662	18,493
その他	840	978
営業外収益合計	36,304	24,470
営業外費用		
支払利息	338	336
不動産賃貸費用	738	739
支払手数料	—	328
その他	—	0
営業外費用合計	1,077	1,404
経常利益	432,497	402,817
特別利益		
投資有価証券売却益	—	46,110
特別利益合計	—	46,110
特別損失		
役員退職慰労金	—	40,000
特別損失合計	—	40,000
税引前四半期純利益	432,497	408,928
法人税、住民税及び事業税	99,458	109,364
法人税等調整額	30,479	11,719
法人税等合計	129,937	121,083
四半期純利益	302,559	287,844

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	432,497	408,928
減価償却費	15,478	10,530
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△39,000	△14,000
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△27,500	△16,250
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△31,042	2,500
役員退職慰労金	—	40,000
前払年金費用の増減額 (△は増加)	△10,235	△18,371
受取利息及び受取配当金	△3,771	△2,950
支払利息	338	336
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△46,110
売上債権の増減額 (△は増加)	672,237	256,574
未収入金の増減額 (△は増加)	10,367	22,696
仕入債務の増減額 (△は減少)	△41,881	△44,663
未払金の増減額 (△は減少)	△28,403	△49,451
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△27,785	△48,482
その他	△10,694	10,835
小計	910,605	512,122
利息及び配当金の受取額	3,760	2,801
利息の支払額	△341	△336
法人税等の支払額	△164,583	△176,275
営業活動によるキャッシュ・フロー	749,440	338,313
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,336	△13,286
無形固定資産の取得による支出	△3,271	△8,487
投資有価証券の取得による支出	△1,166	△201,332
投資有価証券の売却及び償還による収入	—	185,240
敷金及び保証金の差入による支出	△2,185	△135
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,959	△38,001
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	150,000	150,000
短期借入金の返済による支出	△150,000	△150,000
配当金の支払額	△244,599	△372,754
自己株式の取得による支出	—	△49,991
財務活動によるキャッシュ・フロー	△244,599	△422,746
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	494,879	△122,435
現金及び現金同等物の期首残高	2,698,635	3,369,948
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,193,514	3,247,513

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年5月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式14,100株の取得を行いました。また、2020年6月25日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬としての自己株式5,200株の処分を行っております。この結果、当第2四半期累計期間において、単元未満株式の買取りと併せて自己株式が32,158千円増加し、当第2四半期会計期間末において自己株式が33,066千円となっております。